



令和6年度 第1回 生涯学習センター運営審議会

令和6年8月26日（月）午前10時～
中央生涯学習センター 5階研修室

生涯学習センター運営審議会出席者名簿

生涯学習センター運営審議会委員（任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日）

1	片桐 幸枝	琴友会（大正琴） 代表（中央生涯学習センター）
2	齋藤 哲男	三の沢北自治会 自治会長（西生涯学習センター）
3	上野 秀雄	陽光地区まちづくり推進協議会 会長（南生涯学習センター）
4	寺山 睦夫	宝木地区まちづくり協議会 会長（北生涯学習センター）
5	阿久津 秀夫	清原地区自治公民館連絡協議会 会長（清原生涯学習センター）
6	岡田 好枝	宇都宮女性防火クラブ 会長（横川生涯学習センター）
7	渡邊 秀雄	瑞穂野地区まちづくり協議会 役員（瑞穂野生涯学習センター）
8	菊地 重栄	城山地区コミュニティ協議会 会長（城山生涯学習センター）
9	小曾戸 典子	富屋小学校地域協議会地域学校協働活動推進員 （富屋生涯学習センター）
10	首藤 慎二	豊郷地区連合自治会 会長（豊郷生涯学習センター）
11	阿久津 節子	篠井小学校魅力ある学校づくり地域協議会地域コー ディネーター（篠井生涯学習センター）
12	稲葉 豊	雀宮地区まちづくり推進協議会 会長（雀宮生涯学習センター）
13	斉藤 智子	上河内中学校地域協議会 地域学校協働活動推進員 （上河内生涯学習センター）
14	谷内 直子	白沢宮っ子ステーション放課後子ども教室 事業コーディネーター（河内生涯学習センター）
15	半田 文男	宇都宮市立今泉小学校長（小学校長会）
16	鈴木 智喜	宇都宮市立姿川中学校長（中学校長会）
17	若園 雄志郎	宇都宮大学准教授
18	坪井 真	作新学院大学女子短期大学部教授
19	遠藤 芳孝	公募
20	上野 恵美子	公募

出席生涯学習センター所長

1	東生涯学習センター所長	黒川 哲也
2	南生涯学習センター所長	野澤 幸雄
3	平石生涯学習センター所長	高嶋 伸夫
4	横川生涯学習センター所長	藤山 幸雄
5	城山生涯学習センター所長	渡辺 隆
6	富屋生涯学習センター所長	田崎 俊夫
7	篠井生涯学習センター所長	川崎 欣司
8	雀宮生涯学習センター所長	鷺谷 文子
9	河内生涯学習センター所長	和田 貴弘

事務局

1	生涯学習課長	塚田 真仁
2	生涯学習課長補佐	横山 靖夫
3	企画グループ 係長	黒須 紀子
4		総括 澁川 泰子
5		主事 島田 綾香
6	放課後児童グループ 係長	平山 寛徳
7	家庭教育・地域人材グループ 係長	加藤 裕史
8	中央生涯学習センター 所長	伊瀬 公章

目次

1 開会

2 生涯学習センター運営審議会について

3 議事

【協議事項】

- (1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について
- (2) 令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について
- (3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

4 閉会

2 生涯学習センター運営審議会について

役割

社会教育法第29条に基づき、生涯学習センター事業の企画実施等について調査審議する機関。生涯学習センターの運営等に対するさまざまな助言・提言を貴重な市民の声、または新たな知見として生涯学習センターの事業運営に役立てる。

(社会教育法第29条及び宇都宮市生涯学習センター条例 第11条)

委員 構成

20名

(社会教育関係者14名 学校教育関係者2名 学識経験者2名 公募2名)

(宇都宮市生涯学習センター条例第11条)

任期

2年 (令和5年6月1日～令和7年5月31日)

(宇都宮市生涯学習センター条例第11条及び宇都宮市生涯学習センター施行規則第8条)

会議 回数

2回 (8月・2月)

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について

第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画の理念 (【参考1】)

学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により、一人ひとりが活躍できる社会を実現する

第3次宇都宮市地域教育推進計画後期の特徴

基本目標Ⅰ

一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習に取り組んでいます。

基本目標Ⅱ

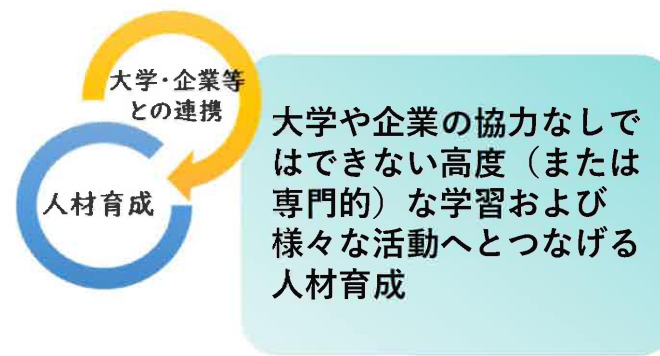
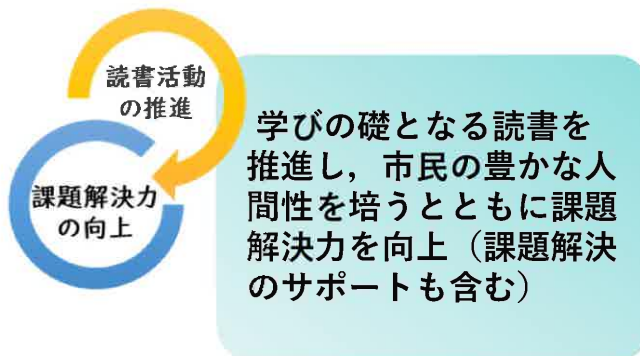
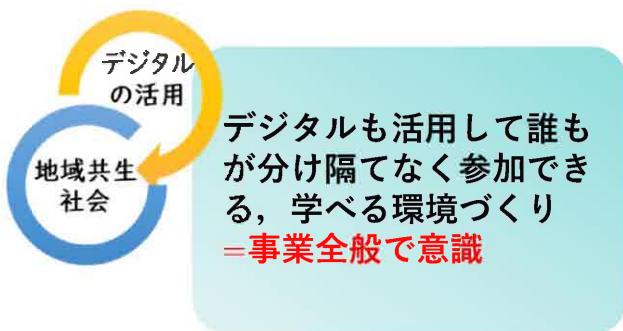
地域・学校・家庭が相互に連携・協力した教育活動を通して、地域全体で学び合い育ち合っています。

基本目標Ⅲ

多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています。

基本目標Ⅳ

学習や学んだ成果を生かした活動に持続的に取り組める環境が整っています。



3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について



「令和5年度生涯学習センター事業運営の考え方」

生涯学習センターにおいては、「第3次宇都宮市地域教育推進計画」の理念の実現に向けて、下記項目を重点項目として取り組んでいく。各重点項目については、指標を基に評価していく。



重点項目
(1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

重点項目
(2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

重点項目
(3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

重点項目
(4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(1)の評価）

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

【指標①】生涯学習センター等における学習機会の充実

(生涯学習センター等における講座の受講者数)

基準値（令和4年度）：25,063人 目標値（令和9年度）：50,000人

指標1	R4年度 (基準値)	R5年度	R9年度 (目標値)
単年度目標値	—	30,000人	50,000人
実績値	25,063人	35,322人	
生涯学習センター	9,144人	10,589人	
人材かがやきセンター	532人	607人	
図書館	15,476人	24,126人	
単年度の達成度	—	117.7%	

生涯学習センター講座
の満足度は98.2%

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(1)の評価）

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

【指標②】 情報教育の推進（スマホ、パソコンなどを使って学ぶ講座の受講者数）

基準値（令和4年度）：565人 目標値（令和9年度）：600人

指標2	R4年度 (基準値)	R5年度	R9年度 (目標値)
	参加者数	参加者数	参加者数
単年度目標値	—	520人	600人
実績値	565人	542人	
単年度達成度	—	104.2%	

満足度は90.8%

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(1)の評価）

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

【評価】

- ① 企業や大学等と連携し、「女性のための健康づくり栄養講座」や「企業体験教室」など、市民ニーズや時事的テーマを捉えた学習機会を提供することで、目標を上回る受講者数となった。また、1つの講座の実施回数の増加やワークショップ型式の講座の実施など、学習内容や方法を工夫したことで、講座の満足度は98.2%となった。すべての市民が学ぶことができるよう、講座への参加が特に少ない働き世代を含めたニーズに沿った講座を展開する必要がある。
- ② 生涯学習センターにおいて、全館で初心者向けのスマホ基礎講座を開催するほか、電子申請共通システム、公共施設予約システム、地域交通内予約・配車システムなど本市のWEBシステムの利用方法を説明する内容の講座を実施することで、目標を上回る参加者数となり、満足度は90.8%となった。来年度以降、公共施設予約システムが全センターで導入されるなど、より身近でデジタルを活用する機会が増え、スマホ基礎講座のニーズが高まっていくことが見込まれるため、引き続きスマホ基礎講座などのデジタルディバイド対策に取り組む必要がある。

【今後の取組方針】

- ① 全ての市民が生涯を通じて学ぶ楽しさを感じ、豊かな人生を送ることができるよう、企業・大学等と連携し、仲間づくりにつながる講座や生活課題、社会的課題の解決に資する講座などを、開催日時等を工夫しながら開催し、市民の学習機会の提供に取り組む。
- ② デジタル化する社会に必要なスキルを身に付けるため、各地区市民センターに開設されている「デジタル活用支援窓口」と役割分担を図りながら、個々の段階に応じたスマホ講座等を実施していく。

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(2)の評価）

重点項目 (2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

【指標①】 家庭教育支援講座の充実

(家庭教育支援に係る講座等の実施回数)

基準値（令和4年度）：52 講座 目標値（令和9年度）：62 講座

指標 1	R 4 年度 (基準値)	R 5 年度	R 9 年度 (目標値)
	講座数 (実施回数)	講座数 (実施回数)	講座数 (実施回数)
単年度目標値	—	54 講座	62 講座
実績値	52 講座	50 講座	—
うち 生涯学習センター実績	42 講座 (161 講座)	39 講座 (166 講座)	生涯学習センター講座 の満足度は <u>98.7%</u>
単年度達成度	—	92.6 %	

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(2)の評価）

重点項目 (2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

評価と今後の取組方針

【評価】

- ① 生涯学習センターにおいて、子育て世代向けに、子どもとの接し方やレクリエーション、自然体験に関する講座を実施したほか、保育士への相談会や親同士の交流機会の創出など、ニーズを踏まえた事業展開を行ったことで、講座数は目標に達しなかったものの、満足度は98.7%となった。家庭教育に対する意識の高揚や親力の向上を図るため、引き続き、ニーズを踏まえた子育て世代向けの講座を開催する必要がある。

【今後の取組方針】

- ① 家庭の教育力向上を目指し、子育て世代の悩み解決や、親の気づきを促す講座などを開催し、参加者間の交流の場や体験活動の場を提供することで、孤立しがちな子育て世代のコミュニティの形成を促進する。

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目
(3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

【指標①】 NPO・大学・企業等と連携した学習の推進

(企業等と連携した講座開催数)

基準値（令和4年度）：127 講座 目標値（令和9年度）：169 講座

指標 2	R 4 年度 (基準値)	R 5 年度	R 9 年度
	実施回数	実施回数	実施回数
単年度目標値	—	129 講座	140 講座
実績値	127 講座	169 講座	—
うち 生涯学習センター実績	74 講座	93 講座	
単年度達成度	—	131.0%	

生涯学習センター講座
の満足度は97.1%

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

【指標②】 地域学・宇都宮学講座等の充実（地域学講座，宇都宮学講座等の受講者数）
基準値（令和4年度）：1,011人 目標値（令和9年度）：1,200人

指標1	R4年度 (基準値)	R5年度	R9年度 (目標値)
単年度目標値	—	1,040人	1,200人
実績値	1,011人	1,353人	—
生涯学習センター	1,086人	1,086人	生涯学習センター講座 の満足度は <u>98.9%</u>
図書館	267人	267人	
単年度の達成度	—	130.1%	—

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

【指標③】 地域かがやきプロジェクト事業の推進（地域かがやきプロジェクト活用事業数）
基準値（令和4年度）：14 事業 目標値（令和9年度）：23 事業

指標 1	R 4 年度 (基準値)	R 5 年度	R 9 年度 (目標値)
単年度目標値	—	15 事業	23 事業
実績値	14 事業	17 事業	
単年度の達成度	—	113.3 %	

生涯学習センター講座
の満足度は97.8%

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

評価と今後の取組方針

【評価】

- ① 市内の様々な大学，企業等と連携し，多様な講座を展開することで専門的で高度な学習の推進を図るとともに，企業等が地域との関わる機会の創出に取り組み，目標を上回る実施回数となったほか，満足度は97.1%となった。地域団体や大学・専門学校，企業など，内容に応じて様々な組織と積極的に連携し，質の高い講座の提供とともに，学習を通して学校や企業，地域が関係を深めるきっかけを作っていく必要がある。
- ②③生涯学習センターで開催する様々な講座において，地域理解につながる内容を取り入れ，改めて自分の住む地域に目を向ける機会，考える機会を創出したことで，目標を上回る受講者数となったほか，満足度は②地域学・宇都宮学に関する講座では98.9%，③地域かがやきプロジェクト事業の推進では97.8%となった。実施にあたり，地域への興味や関心を促すだけでなく，受講者が地域の課題に気づき，課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付くことが必要である。

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

評価と今後の取組方針

【今後の取組方針】

- ① 地域団体や大学・専門学校、企業など、内容に応じて様々な組織と積極的に連携し、質の高い講座の提供とともに、学習を通して学校や企業、地域が関係を深めるきっかけを作っていく。
- ②③地域理解につながる内容を講座に取り入れ、改めて自分の住む地域に目を向ける機会、考える機会を創出し、地域課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付け、地域を支える人材の育成ができるよう取り組んでいく。

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(4)の評価）

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

【指標①】 生涯学習センター施設，図書館施設の利用促進

(生涯学習センター，図書館貸館の利用者数)

基準値（令和4年度）：477,292人 目標値（令和9年度）：600,000人

指標 1		R 4 年度 (基準値)	R 5 年度	R 9 年度 (目標値)
単年度目標値		—	500,000 人	600,000 人
実績値		477,292 人	541,368 人	—
	生涯学習センター	468,759 人	536,269 人	—
	図書館	8,533 人	5,099 人	—
単年度の達成度		—	130.1 %	—

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

【指標②】 学習成果を活用した活動機会の充実（文化祭での出店団体数）

基準値（令和4年度）：351 団体 目標値（令和9年度）：750 団体

指標2	R4年度 (基準値)	R5年度	R9年度 (目標値)
単年度目標値	—	400 団体	750 団体
実績値	351 団体	486 団体	—
単年度の達成度	—	121.5 %	—

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目
(4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

【指標③】 学習情報提供事業・学習相談事業の充実（マナビス登録件数）
基準値（令和4年度）：4,721件 目標値（令和9年度）：5,200件

指標2		R4年度 (基準値)	R5年度	R9年度 (目標値)
単年度目標値		—	5,000件	5,200件
実績値		4,721件	5,094件	—
単年度の達成度		—	101.9%	—
参考	マナビスのアクセス件数	116,349件	89,275件	—
	学習相談の件数（電話，メール来館など）	880件	910件	—

※生涯学習情報提供システム（マナビス）

生涯学習関連情報である，講座情報，イベント情報，施設情報，団体情報，講師情報などを，インターネットにより提供している生涯学習情報提供システム

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

評価と今後の取組方針

【評価】

- ① 生涯学習センターで実施した講座の実施回数が増加しており，また，生涯学習団体等への貸館も増加していることから，市全体の生涯学習活動が活発化しており，目標を上回る利用者数となった。活動に必要な場をより簡便に確保できるよう市民の利便性の高い公共施設予約システムを構築していく必要がある。
- ② 全ての生涯学習センターにおいて，文化祭を開催し，作品展示，ステージ発表，体験コーナー，物販を実施した。日頃の学習成果を発表できる場を創出により，目標を上回る団体が文化祭に出店し，学習のやりがいづくりに寄与した。学習へのやりがいや達成感を創出し，市民の「学習と活動の循環」を促すため，引き続き文化祭等の学習機会を発表する場を創出する必要がある。
- ③ 既に生涯学習情報提供システム（マナビス）に登録されている情報の最新情報への適時更新や，多様な学習情報の提供などに取り組み，目標を上回る登録件数となった。また，市民からの新たに学習を始めたいという問い合わせに対して，マナビスを活用し，相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決支援を行ったことで，学習相談件数が増加し，学習者を様々な活動へ結びつけることができた。主体的な学習活動を支援するため，引き続き，市民への情報発信に取り組む必要がある。

3 議事

【協議事項】(1) 令和5年度生涯学習センター事業運営の評価について（重点項目(3)の評価）

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

評価と今後の取組方針

【今後の取組方針】

- ① オンラインでの公共施設予約システムの全市的な導入に合わせ，各センターの貸館ルールを統一し，利用者の利便性向上を図る。
- ② 生涯学習団体をはじめ，広く市民の学習成果のアウトプットの場を提供するとともに，地域住民の交流を促進するため文化祭の充実に取り組む。
- ③ 引き続き，生涯学習活動に係る市民への情報発信に取り組むとともに，団体・サークルや講師等の多様な学習情報をマナビスに登録することで，市民一人ひとりの多種多様な学習や活動を支援する。

3 議事

【協議事項】(2) 令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について



「令和6年度生涯学習センター事業運営の考え方」

生涯学習センターにおいては、「第3次宇都宮市地域教育推進計画」の理念の実現に向けて、下記項目を重点項目として取り組んでいく。各重点項目については、指標を基に評価していく。



重点項目
(1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進

重点項目
(2)

家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進

重点項目
(3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

重点項目
(4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

3 議事

【協議事項】(2) 令和6年度生涯学習センター事業実施状況（上半期）について

令和6年度生涯学習センター事業実施状況【資料1】参照



出席生涯学習センター所長より説明

【出席生涯学習センター】

（東，南，平石，横川，城山，富屋，篠井，雀宮，河内）



3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)

- 令和5年2月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、生涯学習センターの事業運営に取り組む。
- 計画策定3年目となる令和7年度については、令和6年度の考え方を基本としながら、令和6年度上半期の実績等を踏まえ、事業の見直しに取り組み、内容の充実を図っていく。

生涯学習センターの役割

多様な学習機会の提供を通じた意識醸成

アイスブレイクで各分野の意識醸成を取り入れる
各分野の啓発チラシを配布する

学びを通して、人々がつながり、
学び合うことができる機会の提供

NPO・大学・企業等と積極的に連携し、個人の成長を促す講座の実施

実施方法の工夫による幅広い世代の参加の促進

開催日時を検討、託児の充実、SNSやデジタル技術の活用等

学んだ人が意欲的・主体的に地域とつながる事業の実施

地域団体との協働・共催した講座や文化祭・地域のイベントの開催

地域住民や多様な団体が交流・活動しながらつながる場として施設の活用を促す事業の推進

3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について



生涯学習センターで取り組む事業

継続	
重点項目	取組内容
(1)	段階に応じたデジタル関連講座の実施 (スマホ講座におけるデジタルサービスの利活用など)
(1)	デジタルを活用した講座の周知・参加者募集
(2)	孤立しがちな子育て世代のコミュニティ形成を促す参加交流型講座の実施
(2)(3)	地域や外国人, 親子等, 参加者間の交流の場の提供
(3)	地域課題を共有し, 地域への興味関心や郷土愛の醸成
(4)	学習相談支援サービスの充実

強化	
重点項目	取組内容
(1)	ハイブリッド型の講座の実施
(2)	企業等と連携した, 学校や家庭ではできない体験学習型講座の実施
(3)	若い世代・働き世代へ向けた地域の魅力発信や仲間づくりの促進
(3)	サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施
(4)	貸館などの場の提供による活動支援及び公共施設予約システムの利用支援

3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (1)

地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進



一人ひとりの主体的な学習活動を支援し、個人の成長や自己実現を促す講座等を開催する。

(例)

- 子育てや仕事などで時間がない方も気軽に参加できる「ハイブリット型講座」の充実
- 参加者の状況や段階に見合ったデジタル関連講座の実施
- SNSやQRコード、電子申請システム等、デジタル技術を活用した若い世代・働き世代への講座の情報発信や参加者募集
- 「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座の開催
- パソコンやスマホ教室、防災に対応した講座、コロナ禍における開催方法を工夫した講座など、「社会的課題に対応した講座」の開催
- 異業種交流や同世代の意見交換など、若い世代が興味を持ちやすい学習スタイルを取り入れる。

参考【後期計画の基本指標】

主体的に学習に取り組んでいる市民の割合

令和3年度：23.9% ⇒ (令和9年度：50.0%)



3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (2)

地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進

家庭の教育力向上を促す講座の開催や、家庭・学校・地域が連携する、つながるきっかけづくりなど、地域全体で子どもを育む教育活動の支援に取り組む。

(例)

- ・ 企業等と連携した、学校や家庭ではできない体験学習型講座の実施
- ・ 子育て世代の保護者の気づきや悩み解決、親子の交流や仲間づくり、コミュニティ形成を促す参加交流型講座の開催
- ・ 土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会等の教育活動を支援する団体への支援や、学校・地域・企業等と連携して子どもの成長を支える教育活動を推進する子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

参考【後期計画の基本指標】

地域における学習支援や体験活動等の教育活動に参加した活動者数及び
児童・生徒数

令和3年度：81,171人 ⇒ (令和9年度：170,000人)

〈内訳〉活動者数：(令和3年度) 20,555人 ⇒ (令和9年度) 30,000人

児童・生徒数：(令和3年度) 60,616人 ⇒ (令和9年度) 140,000人



3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (3)

地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実

地域や社会を支える人材の育成に向けて、地域理解を促す講座や学んだ人が様々な活動主体とつながる学習機会を提供する。

(例)

- SNSやデジタルの活用による若い世代・働き世代へ向けた地域の魅力発信
- サークル団体の活動に結びつく参加型体験型の講座の実施
- 「地域学講座」など地域課題を共有し、地域に対する理解や愛着を育む講座の開催
- NPO・大学・企業等と連携し、専門的な知識や技術を獲得することができる学習機会や情報の提供

参考【後期計画の基本指標】

地域に貢献する活動に参加している市民の割合

令和3年度：29.5% ⇒ (令和9年度：35.0%)



3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

重点項目 (4)

持続的に地域住民の学習や活動，交流を支援する地域教育の基盤の強化

市民が学習や活動をしやすい環境整備とともに，学習相談，情報提供等の機能の充実を図るなど，地域拠点としての基盤の強化に取り組む。

(例)

- 生涯学習団体や教育活動を行う団体等への施設貸出など，場の提供による活動支援
- 活動場所を確保するための公共施設予約システムの利用支援
- 生涯学習情報提供システム(マナビス)の積極的な情報発信など，学習者や活動したい人を様々な活動へ結びつける学習相談支援サービスの充実
- 幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として，施設の環境整備や役割の周知

参考【後期計画の基本指標】

学習や活動をおこなう環境に満足している市民の割合

令和3年度： - % ⇒ (令和9年度： 50.0 %)

(現時点での実績値が無いので，今後，市民意識調査で確認し，目標値を決定)



3 議事

【協議事項】(3) 令和7年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)について

共通

講座実施にあたってのポイント

リピーターだけでなく、 新規の参加者を集める工夫

- ・ 講座内容の見直し
- ・ 募集方法の追加
- ・ チラシの工夫

参加者の状況やレベルに 見合った講座の実施

- ・ 内容を固定せず、
ステップアップ講座などを実施

働き世代やプレシニア世代の 参加促進

- ・ 土日や夜に講座を開催
- ・ 託児の充実

男女ともに参加しやすい 環境の整備

- ・ 講座名称の工夫
「パパママ応援講座」、
「男の料理教室」、 「女性学」 など



4 閉会

【連絡事項】

- ① 広報紙「栃公連」Vol.66の配布について
(机上配布)
- ② 次回の会議日程について
(令和7年2月頃 開催予定)

長時間にわたるご審議，
ありがとうございました。

